

令和8年度 第1学年国語科年間指導計画 予定年間授業時数：140時間
使用教科書：光村図書「国語1年」
使用副教材：浜島書店「学習漢字ノート」「すらすら基本文法」 明治図書「よくわかる国語の学習」
教科の学習目標： <ol style="list-style-type: none"> ① 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し相手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。 ② 目的や意図に応じ、構成を考えて的確に書く能力を身につけさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。 ③ 本や文章を読み、内容を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のリレー、野原はうたう、魚と空（詩） ・はじまりの風（物語） ・話の構成を工夫しよう（書く） ・ダイコンは大きな根？、ちょっと立ち止まって（説明）【ICT活用】 ・詩の世界（詩） 比喻で広がる言葉の世界 ・本の中の中学生（読書） ・言葉と漢字の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた世界を読み取り、気持ちが伝わるように音読する。 ・主人公の心情に共感し、登場人物の行動から気持ちの変化を読み取る。 ・観点を決めて情報を整理し、相手や目的に応じて説明する力を養う ・段落の役割、相互関係に着目して読み、説明文学習の基礎を学ぶ。 ・相手の話を正確に聞き取り、取材した内容をスピーチで伝える。 ・読書紹介や平易な物語文を通して、読書への興味・関心を喚起する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・星の花が降るころに・大人になれなかった弟たちに…（物語） ・項目を立てて書こう一案内文を書く（書く） 「言葉」を持つ鳥シジュウカラ(説明文) ・いろは歌、蓬萊の玉の枝（古文） ・今に生きる言葉（漢文）【ICT活用】 ・「不便」の価値を見つめ直す(意見) ・話題や展開を捉えて話し合おう（話す・聞く） ・毛筆 言葉と漢字の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の言葉の豊かさに触れ、詩歌を読み味わう。 ・文章を読み取り、言葉について考えを深める。 ・場面展開や情景描写に注意して読み、登場人物の心情の変化や作者の思いを読み取る。 ・項目の立て方を考え、伝えるべき事柄を整理し、案内文やレポートを書く。 ・おおよその意味を捉えて、仮名遣いに注意しながら音読を楽しむ。また、当時の人々の生活や文化、ものの見方や考え方を現代と重ね、比較して捉える。 ・現代に生きている故事成語を知り、漢文調の文章に慣れる。 ・筆者の考え方を捉え、文章の中心となる部分を見つけ、要約する ・グループディスカッションを行い、構成を工夫し聞き手に応じて話す。 ・論点を捉え、相手の意見を受け入れながら話し合いを行う。 ・書き初めを行い、筆遣いに注意しながら作品を仕上げる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首 ・少年の日の思い出（小説）【ICT活用】 ・二十歳になった日（随筆）、構成や描写を工夫して書こう（書く） ・一年間の学びを振り返ろう ・言葉と漢字の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、分析、内容整理を行い、ICTを活用してまとめ、発信する。 ・表現に込められた書き手の思いや考え方を理解し、自分の考え方に役立てる。 ・作者の思いを想像しながら読み味わう。 ・自分の体験をふりかえり、意味づけをした上で随筆を書く。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	定期テスト 漢字テスト、書写
観点2（34%） 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	話し合い活動（スピーチ等） 聞き取りテスト 定期テスト 作文
観点3（33%） 主体的に学習に取り組む態度	言語を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	授業ノート、プリント、漢字テスト 話し合い活動、授業態度（発言・提出物等含む）